

三角点について

「こもれび」2007年9月号より

1、三角点とは三角測量のため置かれた不動の位置。山の頂上や見晴らしのよいところに国が標石でその位置の経度、緯度、標高を正確に測量している。

2、三角点設置の間隔

一等三角点	一等補点	二等三角点	三等三角点	四等三角点
45 k m程度	25 K m程度	8 ~ 10 K m	3 ~ 4 K m	1.5 ~ 2 K m

3、測量の仕方

以前は三角測量でしたが最近はGPSなどによっている。5年周期で実施している。

4、三角点標石一辺の大きさ (単位：c m)

一等三角点	二・三等三角点	四等三角点
1 8	1 5	1 2

5、三角点の数 (平成 18 年 3 月末現在)

一等三角点	二等三角点	三等三角点	四等三角点	合 計
972	5,055	32,474	67,849	106,350

一等三角点は本点、補点の区別がなくなった。

五等三角点：明治時代に設定されたものが5ヶ所ある。

沖縄3ヶ所(いずれも離島)ほか。

6、日本最果ての三角点

最北端	最南端	最東端	最西端	最高点	最低点
宗谷岬	沖ノ鳥島	南鳥島	与那国島	富士山	秋田大湊

秋田大湊は標高 - 3.9m

7、変わった三角点、標石

- 石垣に直接+の刻印

皇居東御苑にある三等三角点は旧天守台の石垣に直接+印と「三等三角点陸地」と刻印。

- 自然石の三角点

大雪山系緑岳(松浦岳)にある三等三角点は自然石に刻印、しかし熊出没のため立ち入りは難しい。

- ×印の三角点

南アルプスの深南部の黒法師岳の一等三角点。+印でなく×印の刻印

- 一辺が21cmの一等三角点

栃木市近郊の晃石山(てるいしさん)の標石は一辺が21cm

- そのほか面取りされたもの、上部が丸みのある三角点などがある。

(グーグル検索による)